

青森県 秋季高校野球

第79回秋季東北地区高校野球青森県大会第6日は13日、六戸メイトと青森県営の2球場で準々決勝を行った。八学光星は弘前東に2-0で勝利し、工大一は聖愛に延長10回タイブレークの末、5-4で競り勝って、それぞれ4強入りを果たした。八戸西は東義に1-2で惜敗した。青森山田は弘前実をコールドで下し、準決勝に駒を進めた。

第7日の19日は青森県営で準決勝を行う。
（取材班）

19日 試合
青森山田 弘前東
工大一 聖愛
12:10
20:00

▷準々決勝
聖愛 200 000 000 000 2 | 4
工大一 000 020 000 000 3x | 5
（延長10回タイブレーク）
（聖）菊池、関口一成田陽
（工大一）佐々木、越沢一平船
▷二塁打 相馬（聖）金原、田高、田中（工大一）
▷暴投 関口（聖）▷ボーク 佐々木（工大一）
▷試合時間＝2時間32分
（球審＝梅田、塁審＝石山、溝江、福永）
【評】工大一は初回から救援した越沢が九回まで無失点と好投。打線は2点を追う五回2死二、三塁から金原が左中間二塁打を放ち同点に。延長十回タイブレークで越沢が2点を失ったが、その裏に田中の2点二塁打で追いつき、一、三塁で山本が右中間へ運び、サヨナラ勝ちを収めた。

八戸西 000 000 000 100 | 1
東義 000 001 001x | 2
（八）差波、工藤陽一大畑
（東）戸澤、松坂、松岡一関川
▷三塁打 差波（八）斎藤（東）
▷二塁打 松坂、関川（東）
▷試合時間＝1時間52分
（球審＝木下亮、塁審＝小西、大鹿、松山）
【評】東義は同点の九回2死二塁から、関川が右翼線へ値千金の二塁打を放ちサヨナラ勝ちを決めた。八戸西は1点を奪われた直後の七回、2死から砂藤が安打で出塁。続く大畑の右前打で相手が悪送球し砂藤が一気に本塁を陥れた。その後、安打などで満塁としたが一本が出なかった。

八学光星 000 020 000 | 2
弘前東 000 000 000 | 0
（八）岩崎一鈴木
（弘）高松、新岡一水木
▷二塁打 幸坂（八）
▷暴投 岩崎（弘）
▷試合時間＝2時間18分
（球審＝澤田、塁審＝坂本、大森、小田）
【評】八学光星は五回1死二、三塁、幸坂の右翼への二塁打で2得点した。14安打しながら、好機をなかなか生かせず、拙攻が目立った。先発岩崎は打たせて取る投球でこの2点を守り切った。弘前東は何度も得点圏に走者を送ったが、あと一本が出なかった。

弘前実 000 000 0 | 0
青森山田 101 410x | 7
（7回コールド）
（弘）齋藤、樋口、中山一水木
（青）船橋、守一坂本
▷三塁打 坂本、イジョマ（青）
▷二塁打 福士、五十嵐、中村（弘）守、北嶋（青）
▷暴投 樋口（弘）
▷試合時間＝1時間24分
（球審＝立花、塁審＝前田、中村博、秋元）
【評】青森山田は初回と三回に犠飛で得点。四回は先頭の守が三塁打で出塁し、イジョマの適時二塁打などで4点を奪い、五回には北嶋の適時二塁打で加点した。守っては船橋、守のリレーで散発3安打、無失点に抑えた。弘前実の安打が全て長打だったが、後が続かなかった。

光星 岩崎完投

堅守で4強、打線には課題



〇：八学光星は、完投した岩崎賢成を中心とした堅い守りで弘前東を退けた。被安打7、6四死球。初回は一、三塁、四回は満塁のピンチを迎えたが、内野が打球をさき無失点しのいだ。これまで調子を崩していたという岩崎は「今回は直球でアウトが取れた。まずは9回を切り切れて安心した」と笑顔。次に登板するときは自信を持って気迫あふれるピッチングがしたい」と意気込んだ。一方、打線は満塁。一、七回は満塁の好機を逃すが、精彩を欠いた。仲井宗基監督は「攻撃では走塁やバントにミスがあった。これを決め切れない」と課題を口にした。

【準々決勝・八学光星 弘前東】9回無失点の好投を見せた
八学光星の岩崎賢成（六メイト）